

ラインフィルタ

LF シリーズ

取扱説明書

当製品をご使用前に本書を必ずお読みください。
本書の記載と異なった操作などを行った場合、重大な事故に結びつく事があります。
本書は、いつでも見る事の出来る場所に大切に保管してください。



本社	〒226-0024 神奈川県横浜市緑区西八朔町 751	TEL 045-932-2211(代)	FAX 045-932-2219
大阪営業所	〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎 3-4-14 (ショーレイビル)	TEL 06-6372-1100(代)	FAX 06-6372-1797
茅野工場	〒391-0011 長野県茅野市玉川字原山 11400-1107	TEL 0266-79-6071(代)	FAX 0266-79-6074
ホームページ	www.mutodenki.co.jp		
E-mail	sales@mutodenki.co.jp		

1. はじめに

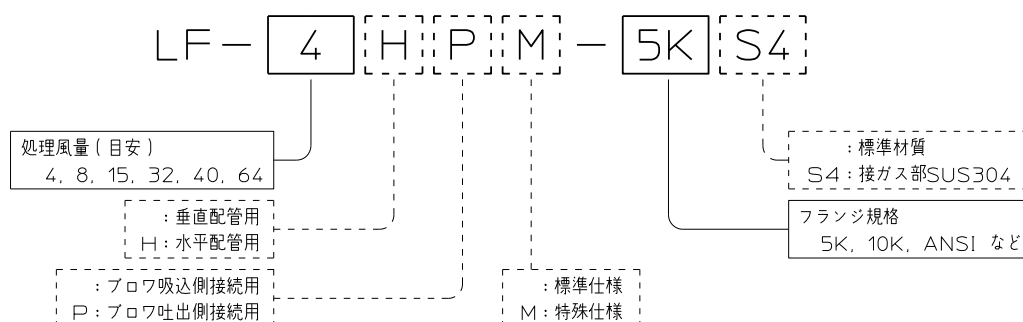
ラインフィルタをご購入頂きありがとうございます。

本機は標準でHEPAフィルタ(捕集効率99.97%at0.3 μ m)を装備しており、微細なダストなどの捕集に有効です。

本機の能力を十分に発揮できるよう、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、いつでも見ることのできる場所に必ず保管してください。

2. 機種名について



3. 最大処理風量と最終圧力損失

本機には最大処理風量と最終圧力損失の設定があります。これを超えた使用は性能が発揮できなくなるばかりか、フィルタの破損の原因にもなります。

最大処理風量と最終圧力損失

機種	最大処理風量 m ³ /min	最終圧力損失 kPa
LF-4	3.7	0.49
LF-8	7.8	
LF-15	14.5	
LF-32	31.2	
LF-40	39	
LF-64	62.4	

(注)この表は、標準品について示したものです。

4. 入荷時の点検

入荷した製品がご注文されたものと同じものかどうかを、次の内容から注文書、納入図及び納品書などで確認してください。

- (1) 銘板をチェックし、ご注文の仕様と一致しているかどうか。
- (2) 注文した員数かどうか。
- (3) 輸送中に異常は無かったかどうか。

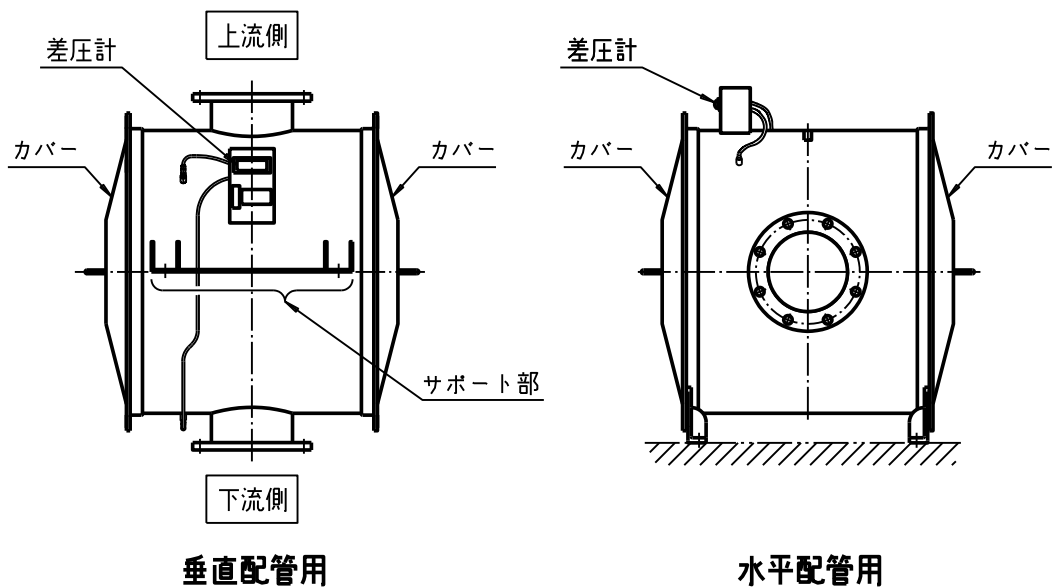
5. 据付及び配管接続

流れ方向がケーシングに表示してありますので、配管系統の流れ方向と一致するように設置してください。

垂直配管用はサポートを必ずとってください。水平配管用は床置きです。

下図のようにカバーは両側にあり、内部点検及びフィルタ交換はどちら側からでも可能です。周辺スペースにご注意ください。(ただし、フィルタ交換が片側からのみの仕様もあります。納入図を参照ください)

配管との接続は、接続寸法誤差、配管重量、配管の熱膨張などによる荷重がラインフィルタに加わらないように注意してください。



6. 使用上の注意

納入図にて処理風量、最終圧力損失などの仕様を確認し、以下の点に注意してください。

- (1) 処理風量を超えての使用は、圧力損失の増加、捕集効率の低下、フィルタ寿命の低下などの原因となります。
- (2) 定期的に差圧計を点検し、最終圧力損失を超えていないか確認してください。最終圧力損失を超えていたらフィルタを交換してください。

圧力損失が極端に低い場合、差圧形の故障、フィルタの破損、フィルタの取り付け不良などの可能性が考えられます。カバーをはずして内部点検を行ってください。

- (3) 標準仕様で使用されるフィルタ(HEPA)は、きわめて捕集効率が高い反面、捕集容量が小さくなっております。大きめの粉塵が存在する場合は、ラインフィルタの前段階にプレフィルタを使用することを推奨します。

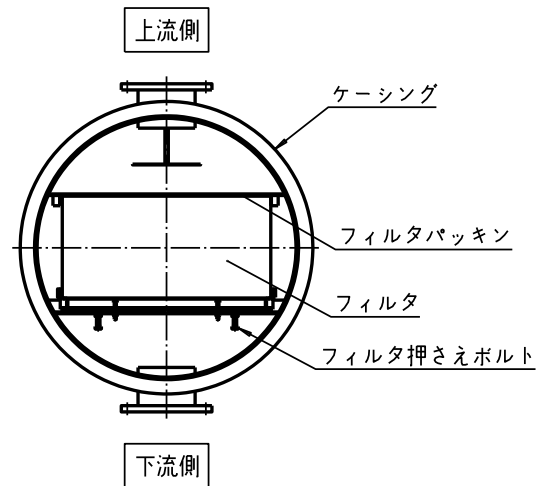
(注) 使用フィルタは HEPA 以外の場合もあります。納入図などでご確認ください。

7. フィルタの交換要領

！ 警告

配管システムの運転を止めずに交換作業を行ってはいけません。
交換作業前にラインフィルタ内部の圧力を大気圧レベルにすること。

- (1) どちらか片側のカバーを外す。(「3.据付及び配管接続」参照)
- (2) フィルタ押さえボルト 4 本を十分に緩めて、フィルタを手前に引き出す。
- (3) 新しいフィルタを古いフィルタと同じようにセットする。このとき、フィルタパッキンが貼ってある面を上流側にする。(水平配管用の場合、フィルタの折目が垂直方向になっていることを確認してください。水平方向に取り付けると、フィルタが破損する恐れがあります。)
- (4) フィルタ押さえボルト 4 本を、フィルタパッキンの厚みが約2mm になるように締める。
- (5) ケーシング内部の下流側に粉塵が落ちたら清掃する。
- (6) カバーを元に戻す。



8. お問い合わせ

本機に関して当社にお問い合わせいただく場合はお手数でも、機種、工事番号、製造年月日などの銘板記載事項を必ずご連絡ください。故障時には併せて、故障箇所、使用日数(使用時間)、使用状態などもご連絡ください。

9. 保証

本機の保証期間は、特別の取り決めがない限り納入日から1年間とし、この間に材料または技術上の理由で起こる故障については無償で修理致します。但し、以下の場合の故障については保証の限りではありません。

- (1) 保証期間経過後に発生した故障。
- (2) 使用方法が不適切だった場合。
- (3) 火災や天災・地変その他の不可抗力により発生した故障、破損。
- (4) 当社の了解なしに修理、改造が行われていた場合。

本機を起因とする純粋経済損失については責任を負いません。

なお、本機の保証は日本国内で使用される場合に限りです。